

赤外パルス分光計測の現在

JST 研究成果最適移転事業

(プレベンチャー) から生まれた先端計測技術

目に見える“光”も、携帯電話やテレビに使われている“電波”も、電子レンジで食べ物をあたためている“マイクロ波”もみんな『電磁波』です。これまで、光（可視光）では分光学が発達し、電波についてはテレビや携帯の普及に合わせて電子工学（エレクトロニクス）の分野で研究開発もすすんできました。

この両者の境界の波長にして 1cm から 100 μ m にわたるテラヘルツ（THz）領域の電磁波は、エレクトロニクスとオプティクス（光工学）の狭間にあり、従来は「未踏の光」と呼ばれてきました。マイクロ波に比較して高周波数であることから大容量高速情報通信分野で、また人体にとって比較的悪影響の少ないことから、医療診断や有害薬品・危険物の検出など安全で健康な社会の構築のための基盤要素技術としてにわかに注目されてきています。

株式会社先端赤外は、2004 年 5 月に信州大学発のベンチャーとして立ち上がり、テラヘルツ領域を計測する汎用赤外パルス分光計測器の事業化に国内ではじめて成功しました。

これを支えたのが科学技術振興機構（JST）のプレベンチャー事業でした。このように JST の産学連携・技術移転支援事業（年間約 250 億円の予算）の多くは産学連携で事業化を図る企業に前払いで支出され、シーズの発掘・育成、試作品開発、事業化開発、大学発ベンチャーの起業まで多くの企業に活用されています。

今回の先端技術セミナーでは、八王子を代表する先端技術開発型ベンチャーの現在と将来ヴィジョン、さらに産学連携に意欲的な企業に対する JST からの最新情報の提供、提案書作成等のポイントについて、それぞれレクチャーしていただきます。

◎日時 平成 19 年 12 月 4 日(火)

午後 4 時～6 時

◎場所 八王子先端技術センター「開発・交流プラザ」

テーマ

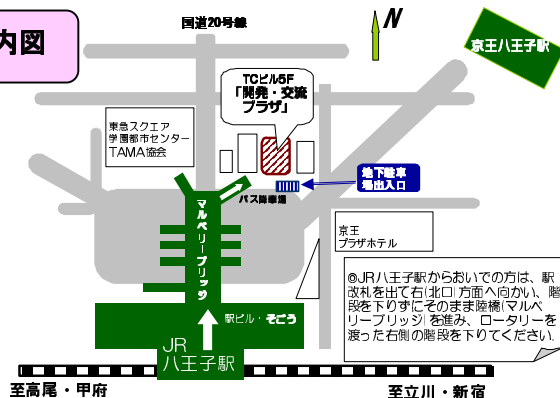
1. 「JST の実用化支援とその活用策」

講演者：独立行政法人科学技術振興機構 産学連携事業本部
技術参事 藤川 昇 氏

2. 「赤外パルス分光計測の現在」

講演者：株式会社先端赤外 代表取締役社長 理学博士
信州大学理学部客員教授 西澤 誠治 氏

会場案内図



◎主催：八王子市 後援：社団法人 首都圏産業活性化協会／サイバーシルクロード八王子

◎参加費無料 定員40名 ◎講演会終了後、午後7時ごろまで交流会を予定、参加費用1,000円程度

○参加申込先

八王子先端技術センター「開発・交流プラザ」までTEL・fax・メールでご連絡ください。

TEL/FAX 042-648-3276 e-mail u6895cu429x@asahi-net.or.jp

社名 _____ 交流会参加 する しない _____

参加者氏名 _____ 役職 _____

TEL _____ e-mail _____

参加会社・組織の名簿を配布しますが記載への同意を する しない _____

※申込に際し記載していただきましたその他のデータは八王子市が主催、後援するセミナー等の周知以外には使用しません。